

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 19 号

第 19 週 (5月4日 ~ 5月10日)

発行年月日:平成21年(2009年) 5月14日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

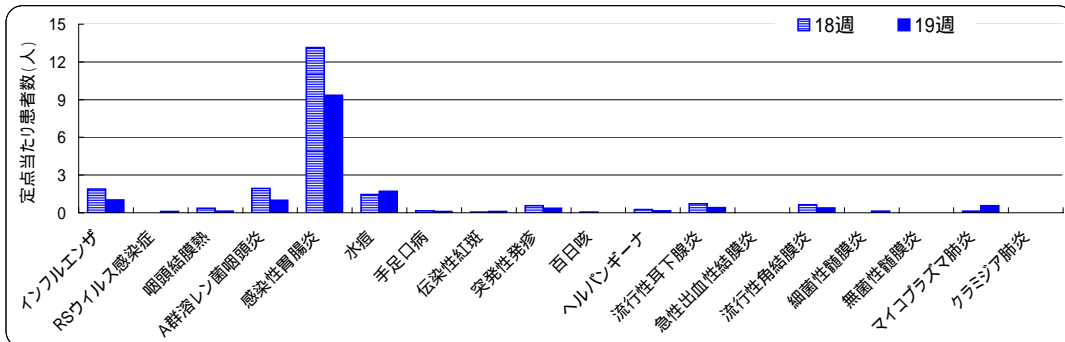
**感染性胃腸炎は、引き続き東近江で多く発生
- 20歳以上の発生割合が増加 -**

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりかなり少なくなっています。特に、感染性胃腸炎の報告数は先週の約30%減となっていますが、東近江では定点当たり患者数が29.80と非常に多くなっています。今週増加した疾患は水痘、マイコプラズマ肺炎等で、減少した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

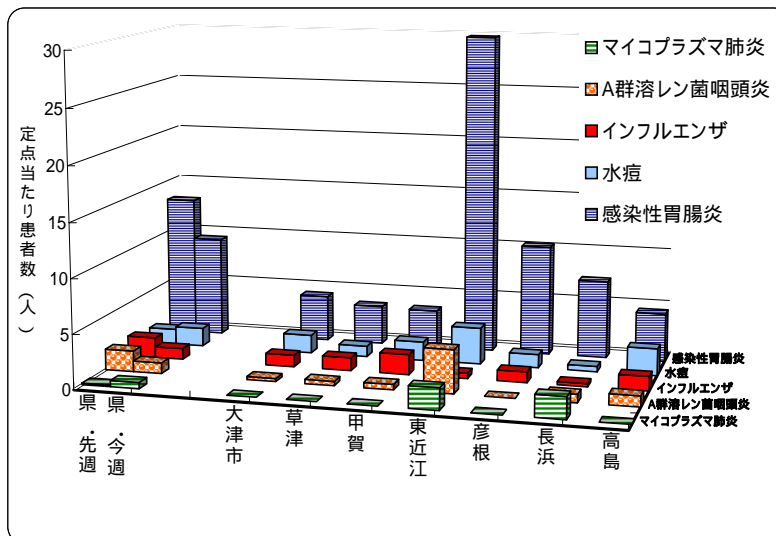
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、感染性胃腸炎では東近江で先週に引き続き警報発生基準値を超えています。また、第18週(4月27日~5月3日)から咽頭結膜熱(プール熱)およびA群溶血性レンサ球菌咽頭炎において、警報の発生基準値が改訂されました(詳細については、今週の発生状況:警報発生基準値の改訂参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で6名、五類感染症の後天性免疫不全症候群で1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第19週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は県全体ではかなり減少していますが、東近江では非常に多い状態が持続しています。

A群溶レン菌咽頭炎および水痘は東近江で多くなっています。

新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)情報

新型インフルエンザ発生状況(WHO情報)

新型インフルエンザ情報(厚生労働省)

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (19週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (19週)	全国 (19週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	6	108	8,653	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	64	^(*) 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	0	3	332	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	16	0	43
	A型肝炎	0	0	33	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	1	1	2
	デング熱	0	0	26	2	104
	マラリア	0	0	22	1	56
	レジオネラ症	0	1	203	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	4	295	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	76	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	38	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	45	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	3	508	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	30	1	76
	梅毒	0	0	243	5	839
	破傷風	0	1	22	5	123
	急性脳炎	0	0	84	1	190
	風しん	0	2	68	2	309
	麻疹	0	0	319	39	11,015

* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第19週(5/4～5/10) -

一類感染症: 報告なし		四類感染症: A型肝炎	1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	4例
二類感染症: 結核	107例	デング熱	2例	劇症型溶血性	
三類感染症: 腸管出血性		つつが虫病	2例	レンサ球菌感染症	2例
大腸菌感染症	13例	レジオネラ症	2例	ウイルス性肝炎	1例
細菌性赤痢	2例	五類感染症: アメーバ赤痢	2例	風しん	1例
		梅毒	1例	麻疹	13例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第14～19週、3/30～5/10)

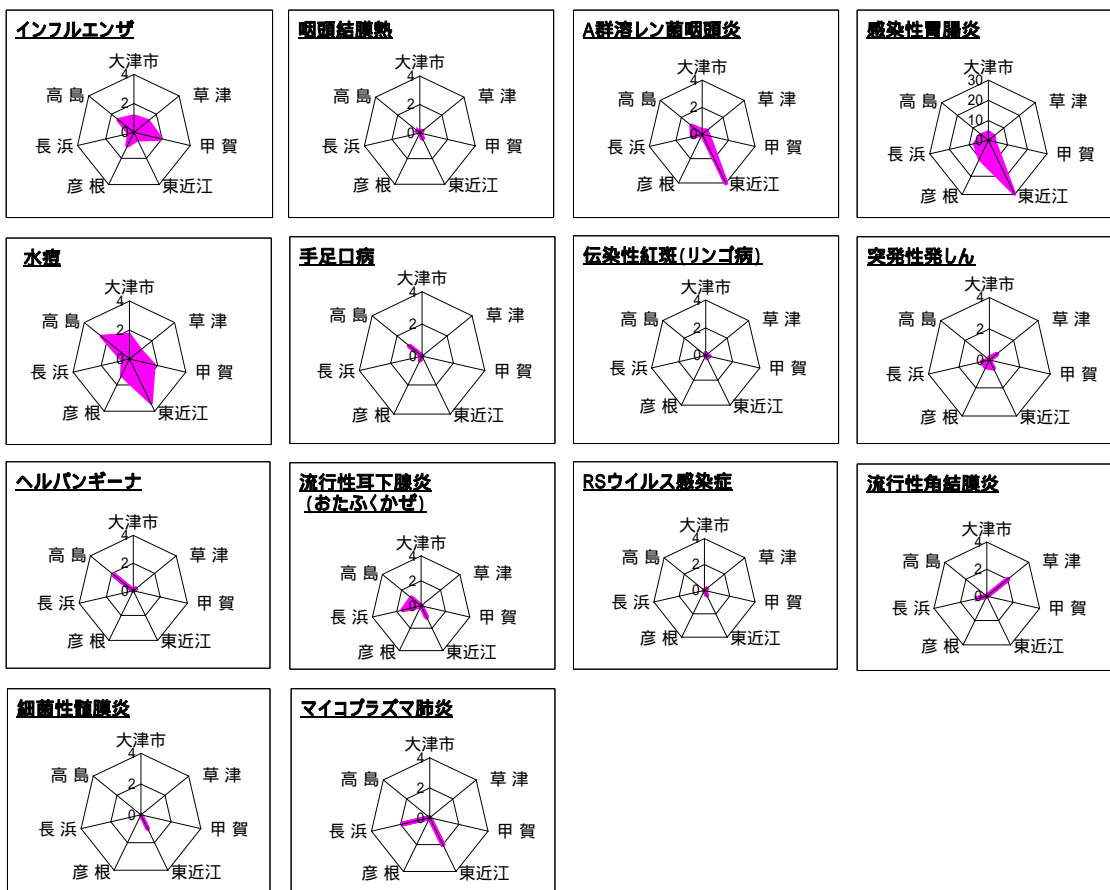
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	14週	15週	16週	17週	18週	19週	週				
	(3/30～)	(4/6～)	(4/13～)	(4/20～)	(4/27～)	(5/4～)	15	16	17	18	19
インフルエンザ	3.88	1.56	2.31	2.02	1.88	1.02					
RSウイルス感染症	0	0.06	0	0	0	0.10					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.55	0.23	0.23	0.35	0.35	0.13					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.26	0.61	1.10	1.23	1.94	1.00					
感染性胃腸炎	9.65	12.87	12.90	12.87	13.13	9.35					
水痘	1.32	1.65	1.19	1.87	1.45	1.71					
手足口病	0	0.13	0.10	0.16	0.16	0.10					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0.19	0.10	0.06	0.10					
突発性発しん	0.13	0.29	0.45	0.32	0.55	0.35					
百日咳	0	0.03	0	0.03	0.06	0					
ヘルパンギーナ	0.16	0.16	0.13	0.13	0.26	0.16					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.29	0.74	0.71	0.52	0.71	0.42					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.25	0.25	0	0.50	0.63	0.38					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0.14					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0	0.29	0.14	0.57					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第19週、5/4～5/10)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	1.02	1.09	1.22	1.86	0.50	1.00	0.29	1.33	
RSウイルス感染症	0.10	0	0.20	0	0.40	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.13	0	0.20	0	0.40	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.29	0.40	0.50	4.00	0	0.75	1.00	
感染性胃腸炎	9.35	4.29	3.60	3.50	29.80	10.25	7.25	4.50	
水痘	1.71	1.71	1.00	1.75	3.40	1.25	0.50	2.50	
手足口病	0.10	0	0	0	0	0.25	0	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.10	0.14	0	0.25	0.20	0	0	0	
突発性発しん	0.35	0.14	0.60	0	0.60	0.50	0.50	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.16	0	0.20	0	0	0	0	2.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.42	0	0	0	1.00	0	1.50	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.38	0	2.00	0	0	0	1.00	0	
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.57	0	0	0	2.00	0	2.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



トップページに戻る

(3)今週の発生状況

インフルエンザ-----県全体では先週より減少していますが、甲賀および高島で先週より多くなっています。

A群溶レン菌咽頭炎----先週多かった甲賀および高島ではかなり減少していますが、東近江ではやや多くなっています。

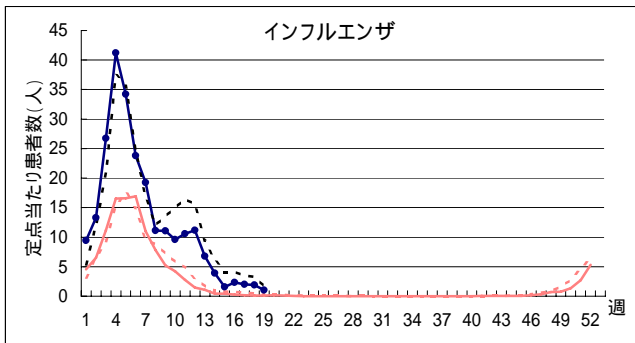
警報発生基準値の改訂

- 厚生労働科学研究費補助金による「効果的な感染症サーベイランスの評価 並びに改良に関する研究」班 -

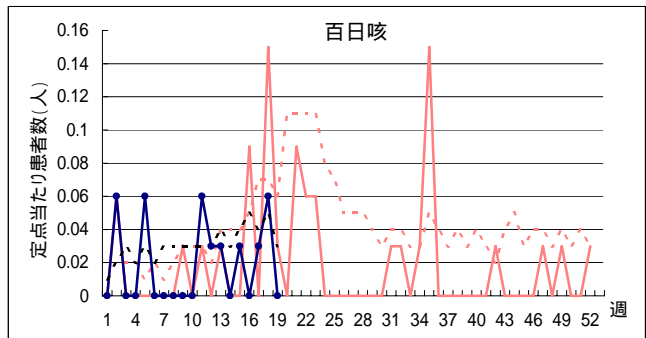
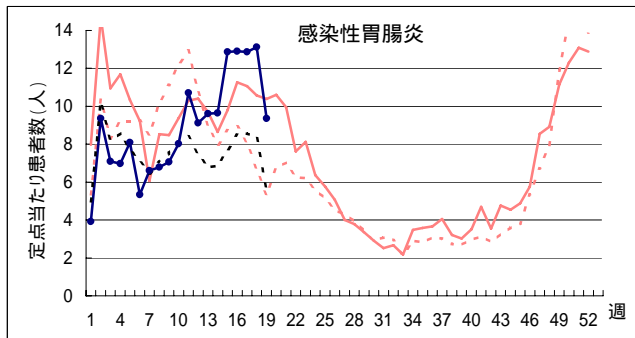
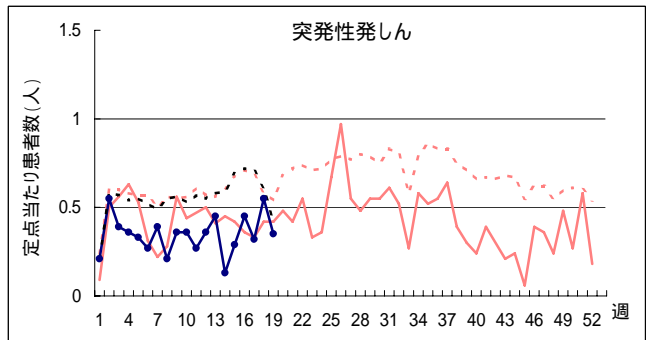
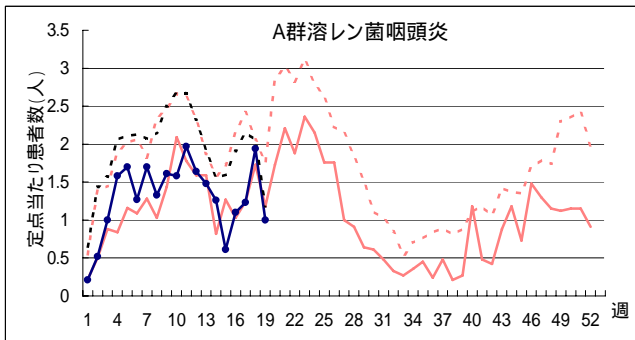
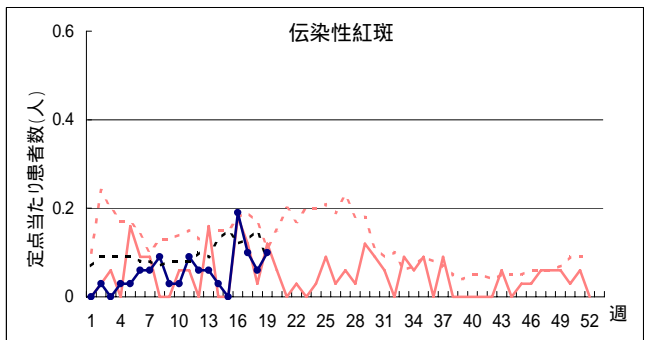
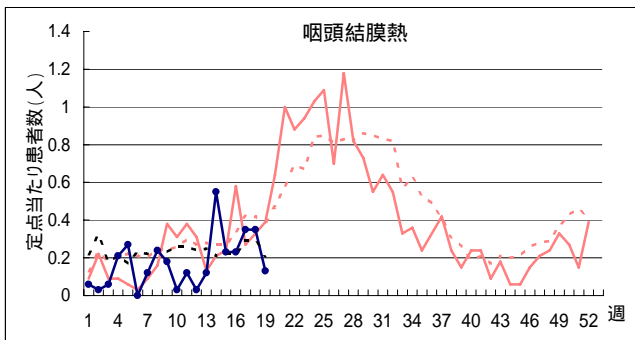
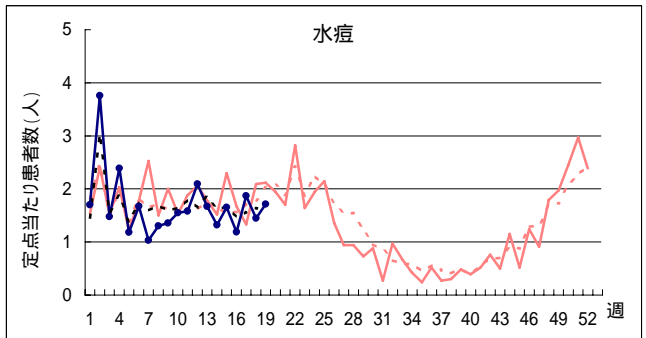
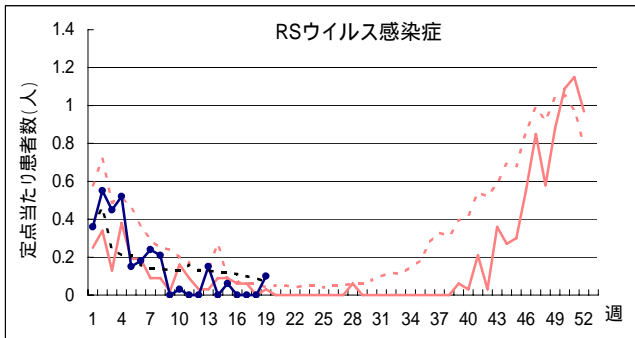
右記、変更基準が第18週(4月27日～5月3日)から「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」に摘要されます。

変更対象疾患	警報の開始基準値(定点当たり患者数、人)	警報の終息基準値(定点当たり患者数、人)
咽頭結膜熱(プール熱)	2.00 → 3.00	0.10 → 1.00
A群溶レン菌咽頭炎	4.00 → 8.00	2.00 → 4.00

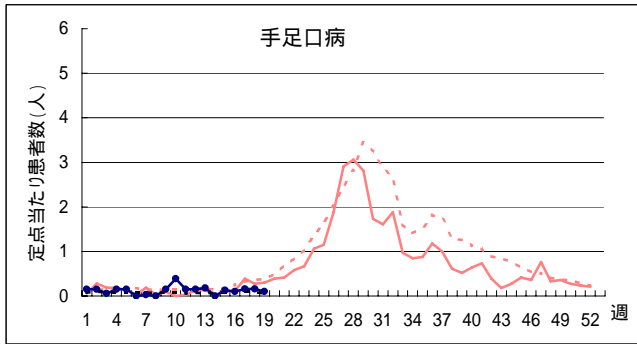
疾病別定点当たり患者数(平成21年第19週、H19.12.29~H21.5.10)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第 19 週、H19.12.29 ~ H21.5.10)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H21
 { 滋賀 ●●●●●
 全国 - - - - -

